

2016年12月21日

Press Release

報道関係者各位

VR コンテンツを第三者視点で評価・レビュー
『VR Inside』運営のスパイシーソフトと業務提携
～良質な VR コンテンツを育成し、業界の発展と VR 活用の可能性に貢献～

ソフトウェアテストの株式会社 SHIFT（東京都港区／代表取締役社長：丹下大、東証マザーズ：3697、以下 SHIFT）は、スパイシーソフト株式会社（東京都新宿区、以下スパイシーソフト）と VR コンテンツの検証・評価業務において提携を結び、VR 業界の活性化を支援し、良質な VR コンテンツの普及を目指した取り組みを実施いたします。

業務提携の背景

SHIFT は、幅広い分野のお客様に対してソフトウェアテストのプロフェッショナルという立場から、ソフトウェア製品の品質保証を担うサービスを主力事業としています。2016 年からは、VR 市場の本格的な立ち上がりには先立ち VR コンテンツの検証業務にもいち早く着手、同年 8 月には VR コンテンツを専門とする検証スタジオをテストセンター内に設置するなど、VR コンテンツを第三者視点で検証・評価することで、その知見とノウハウを蓄積してきました。

この度 SHIFT が業務提携を行うスパイシーソフトは、VR 情報メディア『VR Inside』を運営し、世界中の VR 情報を業界最速でユーザーに届けることをモットーに WEB 上での情報配信を行っています。2016 年 10 月には、『VR Inside』内にビジネスユーザー向けのコンテンツレビューに特化したサービス「Contents Bank」を立ち上げ、メディアとしての中立の立場から、VR コンテンツの実態を成長に評価・レビューし続けています。

異なる視点から VR 市場に参入した両社ですが、同時に現時点で世の中に提供されている VR コンテンツの品質が、VR 酔いなどの様々な問題をクリアできていない段階にあることを目の当たりにし、これらが今後の VR 産業の拡大の妨げになると考えていました。VR 市場は、今後市場の拡大を確実に見込まれる分野である一方、その技術は未だ発展途上です。そのため、世の中に次々に提供される VR コンテンツの中には、身体的影響やユーザビリティを十分に考慮されていないものも存在しており、ソフトウェアとしての安全性や快適性の面から、これらの課題改善と技術の進歩が VR 業界の発展には欠かせないと考えられます。そこで両社は、事業の特性を生かしてコンテンツ開発の根本的な課題改善につながる正確な評価、フィードバックを世の中に提供することで、ユーザーに有益な VR 体験を提供する良質な VR コンテンツの開発環境をサポートすることで合致し、この度の業界の発展と拡大を同一の目的とした業務提携が実現しました。

具体的な取り組み

SHIFT は、スパイシーソフトが運営をする『VR Inside』内の VR コンテンツレビューサービス「Contents Bank」において、VR コンテンツの酔い評価およびレビューを担当します。SHIFT に在籍する年齢や性別などの特性が異なる多様なプロテスター人材が酔い評価を実施することで、より精度の高いユーザー視点でのレビューが可能となります。また、この取り組みにより蓄積される知見やデータを活用することで、VR コンテンツの検証業務の品質向上にも有効であると考えています。尚、この度の取り組みに関する内容を、『VR Inside』に記事として掲載いただいております。

<http://vrinside.jp/news/shift/>

